

6月定例会

市政に関する一般質問

一般質問の質問項目	
● 日色 昭浩 議員	● 医療費適正化について
● 林 明敏 議員	● 特別養護老人ホームについて
● 市民病院について	● 消費税について
● T P Pについて	● T P Pについて
● ごみ焼却場について	● ごみ焼却場について
● 自殺対策について	● 地域医療について
● 介護保険について	● 介護について
● 市立病院の運営について	● 介護について
● 防接種について	● 介護について
● 武田 光由 議員	● 地域防災力強化について
● 学校教育について	● 消防団の中核とした地域防災力強化について
● 地域の活性化について	● 消防団の組織強化について
● 行政改革と経費削減について	● 消防組合本署の老朽化について

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針等をたどります。6月定例会では、6月18日と19日に一般質問が行われ、通告順に7名の議員が質問に立ちました。主な質問と答弁を要約し掲載しました。

なお、質問・答弁の詳細は、「匝瑳市議会会議録」をご覧ください。

医療

医療

市民病院の移転建て替えを求め、今から計画を立て、建設検討委員会を立ち上げることとして、建て替えが具現化できるよう考えるが。

平成28年度には学校施設耐震化事業計画が完了することとし、対象とする施設は、市民病院、広域ごみ処理施設、消防組合庁舎、南北道路等の幹線道路整備事業のほか、マニフェスト関連事業のスポーツ施設等の整備について、優先度、計画期間、財源等を検討するよう指示し、現在検討中です。

27年度以降の匝瑳市全体の施設整備計画を検討することとし、対象とする施設は、市民病院、広域ごみ処理事業を前提に医療機能の明確化と連携の強化に向け戦略を立てる必要があると考

えております。

市にとつて病院の使命と役割は、市民病院は、市民の生命と健康を守るために不可欠であり、人間ドックや市民の皆様方に御利用していただいております。

2期目の市長マニフェストの重点政策に健康福祉、医療の充実を掲げており、今後、高齢化が進む中で市民病院の役割はますます重要なものになり、病気の予防を初め、介護サービスに至るまでの地域包括ケアシステムのかなめとなる機能を発揮してもらいたいと考えております。

今後の医療形態と変貌について、2025年問題などもあり、どのように考えているか。

答 今後は、2025年問題に対するために、提出された社会保障制度改革国民会議報告書をもとに、厚生労働省は病院には機能の明確化を求めるため、県・市には、地域医療ビジョンの策定、機能分化と連携の推進を求めています。背景には、現行の社会保障制度でのサービス提供を維持することは財政的に困難であることが挙げられます。全ての病院は今後、高度急性期機能、急性期機能、回復期機能、慢性的機能のいずれかの機能を担うことを1つ選択して県に報告しなければなりません。市

疾病、成人用肺炎球菌ワクチンは個人予防に重点を置いたB類疾病となる見込みです。水痘ワクチンは、今度限りの経過措置として、接種を一度も受けたことがない3、4歳を対象に1回の接種を、肺炎球菌ワクチンは、5年間の経過措置による予定です。

また、ワクチンの国から命と健康を守るために不可欠であり、人間ドックや市民の皆様方に御利用していただいております。

また、ワクチンの国から命と健康を守るために不可欠であり、人間ドックや市民の皆様方に御利用していただいております。

また、匝瑳市にとつては、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

査については、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

査については、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

査については、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

査については、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

保健

保健

定期予防接種の改定により、水ぼうそうと成人用肺炎球菌ワクチンは、自治体が行う定期予防接種に加えられるようだが、その内容は。

また、これらのワクチンの国からの補助は。

答 水痘・肺炎球菌ワクチンは、今年の10月から定期予防接種に追加される予定です。水痘ワクチンは集団予防に重点を置いたA類

の補助について

問題 効果的な保健事業で医療費の適正化を図るためにも、重要課題としてデータヘルスの取り組みをすべきと考えるが。

答 昨年6月14日に閣議決定がされた日本再興戦略の中に、新たな手法、新たな考え方に基づき保健事業の展開を目指したデータヘルス計画が盛り込まれております。

この計画に基づき、レスポンシブ及び健診データなどを活用して健康課題の分析を行うとともに、効果的な

年々増加の一途をたどつており、年齢が進むほど年間の医療費は高くなる傾向にあり、被保険者数は減少し

ける1人当たりの医療費は

ことなどが決定されており、今後設置場所や施設の内

容について協議が行われるものと伺っております。

また、中継基地については、首長会で設置する

ことが決定されており、

疾病、成人用肺炎球菌ワクチンは個人予防に重点を置いたB類疾病となる見込みです。水痘ワクチンは、今度限りの経過措置として、接種を一度も受けたことがない3、4歳を対象に1回の接種を、肺炎球菌ワクチンは、5年間の経過措置による予定です。

また、ワクチンの国から命と健康を守るために不可欠であり、人間ドックや市民の皆様方に御利用していただいております。

また、匝瑳市にとつては、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

査については、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

査については、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

査については、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

査については、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

環境

環境

広域ごみ処理事業の進捗と計画年までの完成見通しは。

答 平成26年4月30日の東総地区広域市町村圏事務組合議会臨時会において建設計画検討委員会の答申どおりシャフト方式に決定したことが報告され、施設建

設についての最終協定を締結できるよう努め、平成33年度の施設稼働に向けて、基本計画や環境影響評価などを実施する総合支援業務などの委託業務手続を開始する予定だと伺っております。

重要な中継基地の問題は、最終処分場の用地は、いつまでに決定されるのか、

また、匝瑳市にとつては、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険

査については、基本項目は無料であり、がん検診では、70歳以上は無料としており、人間ドックは、匝瑳市民病院を実施機関として、保険